

県立高校生学習活動 コンソーシアム 事例発表

神奈川県立平塚中等教育学校

分野別説明会

実施日 令和4年6月30日(木) 6, 7校時

対象 4年生(高校1年生相当) 159名

目的1 様々な職業の方から「働くこととは」「業界で働くこととはどういうことか」「学校での学びや活動が社会でどのように生かされるのか」「どんなビジョンを持って高校生活を送ったらよいか」などについて話を聞き、これからの学校生活と将来の職業選択を考える一助とする。

目的2 講師から提示される「**正解・不正解が存在しない課題**」の解決方法を考える中で、表現コミュニケーション力および論理的思考力の育成を図る。

平塚中等教育学校「キャリア教育実践プログラム」 における令和4年度分野別説明会の位置づけと目的

目的1について

学校行事・特別活動

- キャリア発達に必要な諸能力・課題対応能力
- 分野別説明会

目的2について

「キャリア教育実践プログラム」における「育成する3つの力」

表現コミュニケーション力、科学・論理的思考力、社会生活実践力



「正解・不正解が存在しない課題」の解決方法を考える中で、表現コミュニケーション力および論理的思考力の育成を図る。

講師派遣を依頼した企業・学校等

- | | |
|---------------------|----------|
| 1 【金融関係】 | クレディセゾン |
| 2 【法律関係】 | 神奈川弁護士会 |
| 3 【医療関係】 | 国際医療福祉大学 |
| 4 【ネットリテラシー・ビジネス関係】 | 株式会社メルカリ |
| 5 【食品・健康関係】 | カゴメ株式会社 |

※分野は生徒の進路希望等に基づいて設定した。

※依頼時に、「正解・不正解が存在しない課題」について生徒が話し合う時間を設けていただきたいという学校からの希望を伝えた。

受講生徒数

1	クレディセゾン	27名	
2	神奈川県弁護士会	27名	
3	国際医療福祉大学	32名	
4	株式会社メルカリ	40名	
5	カゴメ株式会社	31名	計157名

※国際医療福祉大学 事前課題有り

「2025年問題について調べておく。」

準備日程

5月9日(月) 県立高校生学習活動コンソーシアム申込み

5月下旬 講師決定

6月上旬 講師との打ち合わせ

※事前に各講座の担当教員を決めておき、各教員が日程調整をして講師と打ち合わせを行った。

事前打ち合わせ(例) 神奈川弁護士会

日時 6月9日(木) 17時30分～ (会議用アプリ による)

- 打ち合わせ内容
- 日程および受講生徒数
 - 来校時間
 - 必要機材 持参してもらうものと学校で用意できるもの
 - 講師料 後日振り込み、所得税などについて
 - 講義内容
 - ①職業理解につながる講話
 - ②正解・不正解が存在しない課題の提示
 - ③生徒が、その課題についてグループで考察し、考えたことを発表する活動
 - その他

当日のスケジュール

朝のSHR	各分野の会場となる教室をクラス掲示
5校時	講師来校(応接室)、プロジェクタ準備
13:55	生徒は各会場に移動(筆記用具持参) 会場の担当者は参加者を名簿にて確認、資料配付 ※ アンケートは最後に配付し記入させる
14:05~14:50	講話前半 : 職業講話
14:50~15:00	休憩
15:00~15:45	講話後半 : グループ協議 (最後にアンケート記入)
終了後	講師見送り、会場片付け

クレディセゾン

前半 講義形式

- 内容
- ・働くこととはどういうことか
 - ・クレジットカードの仕組み
 - ・会社のサービスの概要



クレディセゾン(続き)

後半 グループワーク

内容 「クレジットカードの三者間契約におけるそれぞれのメリット」

生徒の意見

○ 消費者

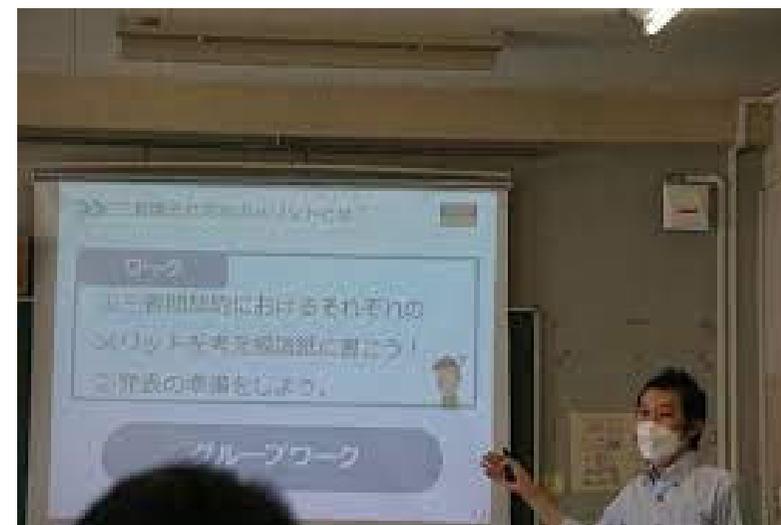
- ・手持ちがなくてもほしいと思ったときに買える。
- ・高額なものでも分割で支払うことができる。

○ 店

- ・確実に払ってもらえる。
- ・現金を扱う手間が省け、紛失や盗難の心配がない。

○ カード会社

- ・手数料で利益を得ることができる。
- ・世界中に顧客を持つことができる。



生徒の感想(一部)

- 興味を持つことの重要さだけでなく興味先の探求をしっかりしていき、将来の職業の方向性を決めていきたい。
- グループワークで意見を出し合いながら授業を受けるのがとても楽しかったです。
- 発表のために超特急で資料を作ったのも楽しかった。

神奈川弁護士会

前半 講義形式

内容 弁護士の仕事

- ・弁護士バッジについて
- ・言葉で人、人権や人々の安心、自信、自由を守る仕事



神奈川弁護士会(続き)

後半 模擬裁判

- 内容
- ・案件: 強盗致傷
 - ・生徒が裁判官、検察官、弁護士、被告人、証人の役割を演じる
 - ・各役割グループに分かれての話し合い
 - ・被告にとって有利な点、不利な点の整理と発表
 - ・裁判官グループによる判決



生徒の感想(一部)

- ・この講座を受講して、将来の選択をひろげることができてよかったです。
- ・事実をもとに考える体験を通して物事を論理的、合理的に考える力が少しいたと思う。また、相手の主張の正しい点や正しくない点を判断することもできるようになった。
- ・模擬裁判を通して、自分の立場を主張することの難しさに気づくことができた。

国際医療福祉大学

前半 講義形式

内容 看護師になるには

- ・様々な医療職について
- ・チーム医療の在り方
- ・医師や看護師不足の深刻さ



国際医療福祉大学(続き)

後半 グループワーク

内容 「2025年問題について考えよう！」

- ・データを調べる。
- ・解決策 国の政策としてできること
病院への支援策
個人でできること



生徒の感想

- ・資格や進路先、その職業の現状について詳しく説明していただき、とても参考になりました。
- ・将来の問題を改善するために、私たちの世代が行動を起こすことが大切だと感じました。
- ・2025年問題をはじめ、医療従事者のひっ迫はずっと続く課題だと思うので、自分がその一員になって少しでも助けることができたらいいなと思います。

メルカリ(メルカリのHPより)

前半 動画教材を用いたワークショップ

- ・メルカリが作成している教材「フリマアプリを安心安全に利用するために」を使用
- ・フリマアプリを安全に利用するためのポイント

メルカリ(続き)

後半 グループワーク

- 内容
- ・目的 : 課題についての解決方法を考える中で、表現コミュニケーション力・論理的思考力の育成を図る
 - ・課題 : 「インターネットサービスやフリマアプリをもっと安心安全に利用してもらうためにはどうすればよいか、メルカリの社員になったつもりで考えてみよう」
 - ・パソコンやタブレット端末を用いて意見をまとめ、アイデアを発表

- 生徒の意見
- ・テレビCMを作る
 - ・学校でインターネットの使い方についてもっと勉強させる
 - ・SNSでアピールする
 - ・アニメとコラボする など

生徒の感想(一部)

◆安心安全利用についての授業の感想

- ・利用者を守るような仕組みづくりも大切だが、そのことを周知していくことも大切だなと感じた。
- ・利用者が当事者意識をもって情報を取得していくことを促進していくことが大切だと考えた。

◆アイデアを考えるワークショップについての感想

- ・どんな取り組みをしたら効果的なのかを考えたり、班の人と意見を交わし合うことができ楽しかった。
- ・友達と意見を出し合って、答えのない問の答えをつくるのがとても楽しかった。

令和4年度分野別説明会のまとめ

○ 企業や大学の協力により

- ・生徒が、職業や働くことへの理解を深めた。
- ・「正解・不正解が存在しない課題」についてグループ活動を行うことで生徒が与えられた課題について自分が考えたことを伝えあうことができた。